

2013年9月21日(土) 音楽会「弦楽四重奏クラシックコンサート」

恒例となりましたクアルテット・ソレイユの皆さんによる演奏会を開催し、今年も多くの方にご参加いただきました。

演目は、モーツァルトの「アイネクライネナハトムジーク作品 525 第1楽章」ベートーヴェンの「弦楽四重奏曲第6番 作品 18-6」メンデルスゾーンの「弦楽四重奏曲第5番 作品 44-3」。本格的な弦楽四重奏の楽曲を2時間弱にわたりお楽しみいただきました。



演奏が身近に感じられる会場です。

サロンをイメージした会場は演奏者と客席の距離が近いので、「演奏の手元が見えて面白かった」というご意見もあり、生演奏の迫力と繊細な表現を存分に感じていただけたのではないのでしょうか。演奏の前にはクアルテット・ソレイユさんから楽曲の説明もあります。「曲の特徴等を演奏前に説明してもらい、鑑賞の際とても参考になった。」「楽器構成とその役割にも注目して聴くことができました。」「より深い鑑賞を楽しむことができました。」と、多くの方から生演奏の醍醐味を堪能したという感想が寄せられました。



演奏者による楽曲の紹介もこの演奏会の楽しみの一つです。